

# 2011年11月の東北地方の天候

## 【11月の特徴】

- 高温
- 少雨

### (1) 2011年11月の概況

この期間、高気圧と低気圧や気圧の谷が交互に通過したため、天気は数日の周期で変わった。上旬は暖気におおわれたため高温が続き、その後は暖気と寒気が交互に流れ込み気温の変動が大きかったが、月平均気温は高くなつた。また、発達した低気圧の影響を受けることが少なかつたことや、冬型の気圧配置が長続きしなかつたため、月降水量は少なくなつた。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北地方で少ない。月間日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。

### (2) 各旬の天候経過

**上旬**：期間のはじめと終わりは高気圧におおわれて晴れたが、期間の中頃は日本海を北東に進んだ低気圧が東北地方を通過し雨となつた。気温は暖気におおわれたため高くなつた。

平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北地方で多い。

**中旬**：この期間、高気圧におおわれた日があったが、次々と気圧の谷が通過し、また期間の中頃は冬型の気圧配置となつた。東北日本海側では晴れの日もあったが、曇りや雨または雪の日が多くなつた。東北太平洋側では晴れの日多かつたが、曇りや雨または雪の日もあった。13日と15日は気圧の谷が通過し山形県で大雨となつたところがあった。19日から20日にかけては日本海と本州の南岸を低気圧が北東に進み、青森県、秋田県、山形県、福島県で大雨となつたところがあった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。

**下旬**：この期間、高気圧と低気圧が交互に通過し天気は周期的に変わつた。期間の前半は低気圧の通過後に冬型の気圧配置となり、東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側ではおおむね晴れた。期間の後半は高気圧におおわれて晴れの日もあったが、低気圧や気圧の谷の影響で曇りの日多かつた。21日は冬型の気圧配置が強まり山沿いで大雪となつたところがあった。24日から25日にかけては冬型の気圧配置となつた影響で東北日本海側を中心に大雨となつたところがあった。27日は低気圧の影響で青森県と秋田県で大雨となつたところがあった。

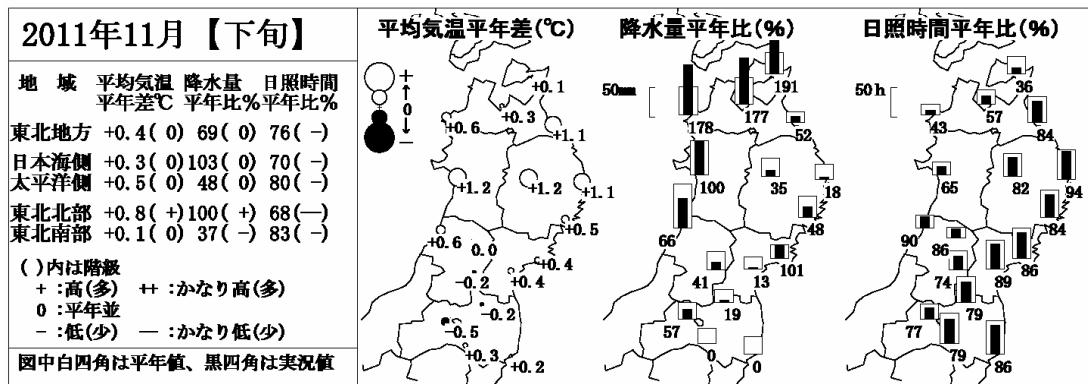
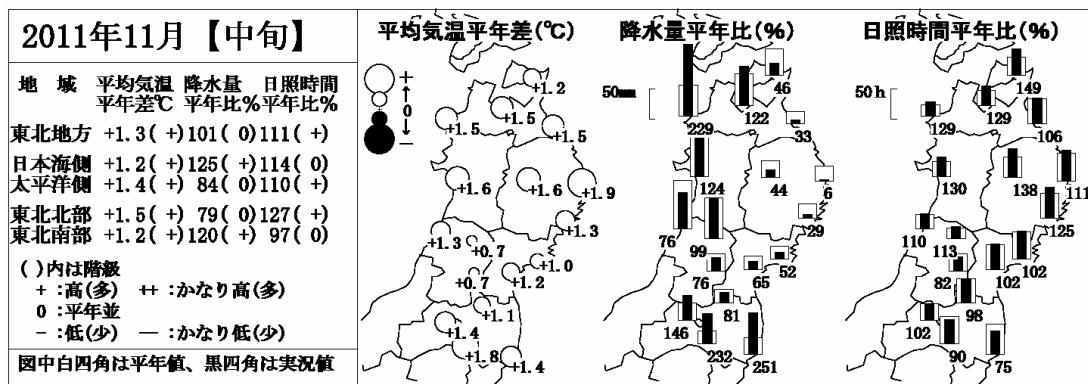
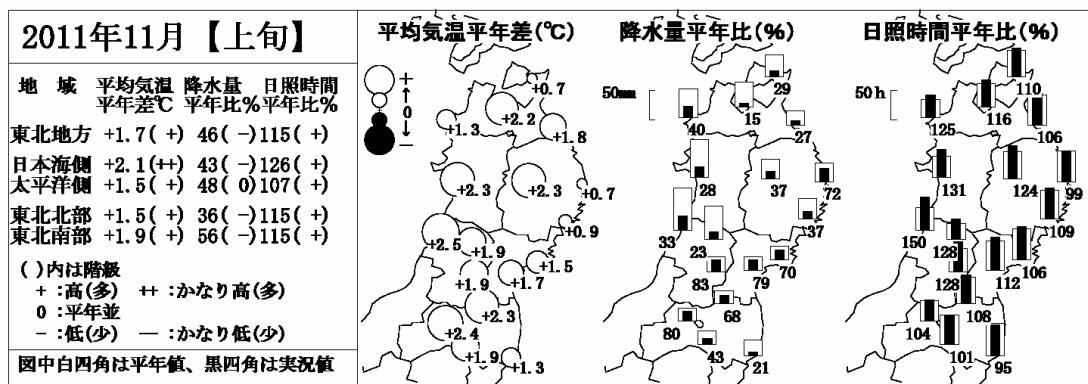
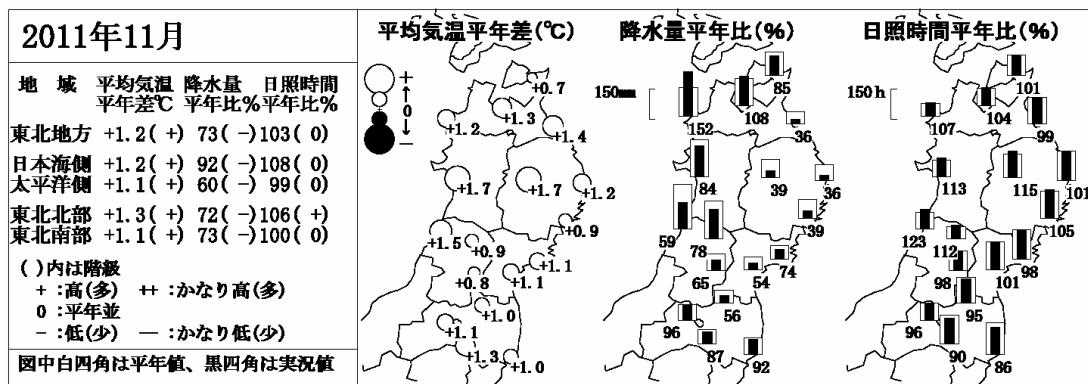
平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で多く、東北南部で少ない。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。

(注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。

細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1981～2010年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

(3) 2011年11月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1981～2010年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2011年11月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級	降雪深さ(平年値)		階級	最深積雪(平年値)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)		(cm)	(cm)		(cm)	(cm)	
青 森	8.1	(+1.3)	+	148.5	(108)	+	12	91.2	(104)	○	24	(32)	○	16	(17)	○
深 浦	8.9	(+1.2)	+	223.5	(152)	+*	13	69.2	(107)	○	-	(9)	-*	-	(3)	-*
む つ	7.2	(+0.7)	+	99.5	(85)	○	12	103.7	(101)	○	19	(18)	○	8	(7)	+
八 戸	8.3	(+1.4)	+	22.5	(36)	-	7	132.3	(99)	○	-	(6)	-	-	(2)	-
秋 田	9.6	(+1.7)	+*	156.0	(84)	-	16	93.8	(113)	+	-	(11)	-	-	(4)	-*
盛 岡	7.6	(+1.7)	+	35.0	(39)	-*	10	134.3	(115)	+	2	(10)	-	2	(5)	○
大 船 渡	9.2	(+0.9)	+	37.0	(39)	-	8	142.2	(105)	○	-	(2)	○	-	(1)	○
宮 古	9.0	(+1.2)	+	28.5	(36)	-	6	149.4	(101)	○	-	(0)	-	-	(0)	-
仙 台	10.5	(+1.1)	+	35.0	(54)	-	5	141.0	(101)	○	-	(0)	-	-	(0)	-
石 卷	9.6	(+1.1)	+	49.5	(74)	○	6	144.7	(98)	○	-	(1)	○	-	(1)	○
山 形	8.2	(+0.8)	+	55.0	(65)	-	12	96.8	(98)	○	-	(10)	-	-	(5)	-
新 庄	7.3	(+0.9)	+	147.0	(78)	-	16	69.8	(112)	○	6	(22)	○	6	(10)	○
酒 田	10.8	(+1.5)	+*	133.0	(59)	-*	19	100.6	(123)	+*	-	(8)	-	-	(3)	-
福 島	10.2	(+1.0)	+	37.0	(56)	-	9	122.5	(95)	○	-	(1)	○	-	(1)	○
若 松	8.2	(+1.1)	+	75.5	(96)	○	12	83.4	(96)	○	-	(6)	-	-	(3)	-
白 河	9.1	(+1.3)	+	61.0	(87)	○	4	130.2	(90)	-	-	(2)	○	-	(1)	○
小 名 浜	12.1	(+1.0)	+	75.5	(92)	○	5	137.6	(86)	-	-	( )	-	-	( )	-

(注) 1. 平年値は1981～2010年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に\*を付加した。この場合には

かなり高い(多い) カなり低い(少ない)

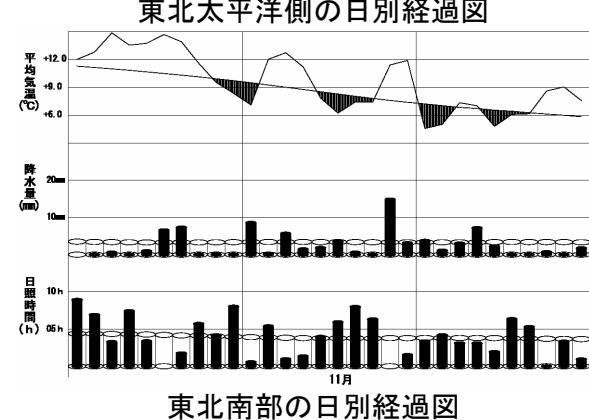
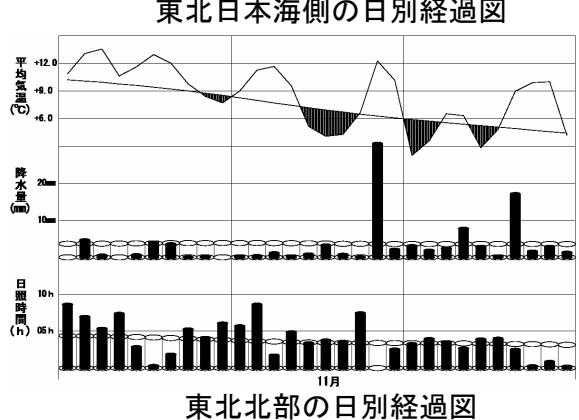
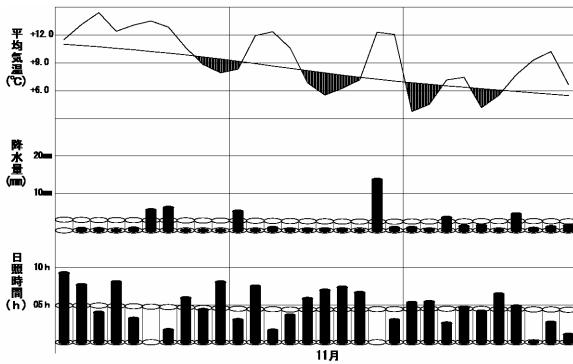
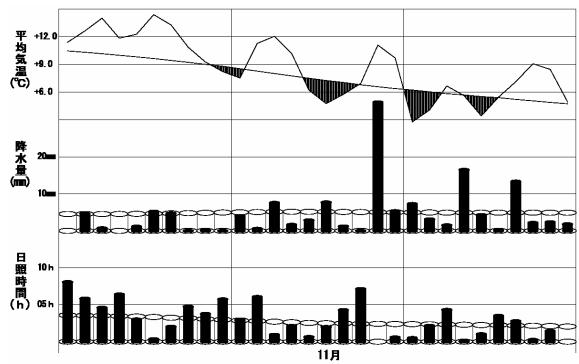
と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に)や]がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが、]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

### (5) 2011年11月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

### (6) 2011年11月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

#### 月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 (西暦年)	開始年	平年値 ℃
3	秋田	9.6	+1.7	10.9 (2004)	1882	7.9
	酒田	10.8 =	+1.5	12.2 (2004)	1937	9.3

#### 月平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

#### 月降水量多い方からの順位更新

3位以内はなし

#### 月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	盛岡	35.0	39	24.0 (1994)	1923	90.2

月間日照時間多い方からの順位更新  
3位以内はなし

月間日照時間少ない方からの順位更新  
3位以内はなし

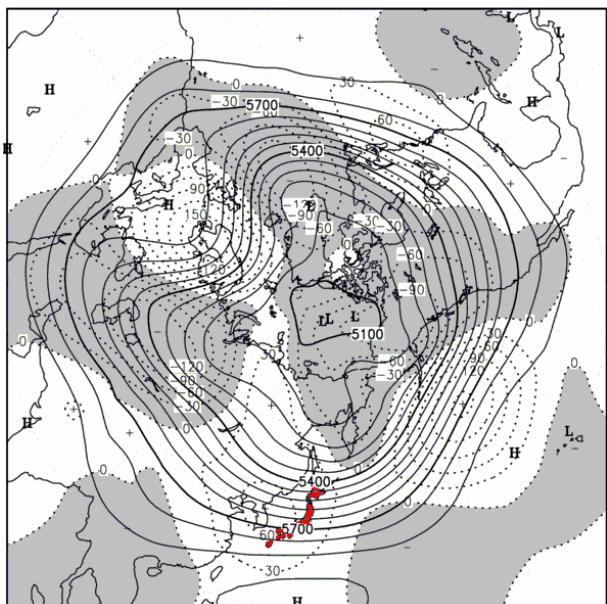
降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新  
3位以内はなし

月最深積雪大きい方からの順位更新  
3位以内はなし

## (7) 2011年11月の循環場の特徴

500hPa 高度は、中緯度帯で偏西風の蛇行が大きく、日本付近は正偏差となった。

東北地方は、暖かい空気におおわれやすく、気温は高くなった。



2011年11月の平均500hPa高度

実線は高度(m)、間隔60m。点線は偏差(m)、間隔30m。  
陰影部は負偏差（寒気に対応）

(8) 2011/2012 年寒候期 季節現象

12月1日15時現在の状況

2011/2012年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	10. 28	10. 29	10. 30	11. 18	11. 3	11. 17	11. 15	11. 6	10. 26
秋田	11. 18	11. 11	11. 17	11. 18	11. 17	11. 27	11. 15	11. 13	11. 15
盛岡	11. 10	10. 22	10. 19	11. 10	10. 27	10. 27	11. 15	11. 8	11. 15
仙台	11. 18	11. 10	11. 17	11. 26	11. 21	11. 24	12. 1	11. 24	12. 15
山形	11. 10	10. 30	11. 12	11. 11	11. 1	11. 12	11. 16	11. 18	11. 29
福島	11. 18	11. 9	11. 19	11. 27	11. 14	11. 19		11. 26	12. 09

初冠雪								
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年
ハツコウダサン 八甲田山	1585	10. 3	10. 17	10. 26	ガンドサン 雁戸山	1485	11. 10	10. 29
イワキサン 岩木山	1625	10. 3	10. 21	10. 27	リュウサン 瀧山	1362	11. 15	10. 30
タイハイサン 太平山	1170	11. 15	11. 2	10. 26	イスミガタケ 泉ヶ岳	1175	11. 16	11. 6
イワテサン 岩手山	2038	10. 2	10. 13	10. 27	ザオウザン 蔵王山	1841	10. 4	10. 24
ガッサン 月山	1984	10. 3	10. 18	10. 29	アヅマヤマ 吾妻山	1949	10. 3	10. 23
アサヒダケ 朝日岳	1871	10. 3	10. 22	10. 27				

(注) 蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。